

スギ花粉は2月から4月に飛散するため、春の訪れと共に、くしゃみ、鼻水、鼻つまり、涙や目の痒みなど、スギ花粉症に悩まされる方は大勢います。今次大戦前、スギ花粉症は稀でしたが、昭和40年代には増加の一途をたどり、わが国の罹患者は二千万人以上と言われています。このようにスギ花粉症が多発したのは、戦後、国が推進した大规模スギ植林により杉の人工林が急増し、その大半が花粉を飛散する樹齢30~40年になったこと、地表が舗装されて花粉が遠くまで飛びようになつたこと、アレルギー性疾患と関連があるとされる食事の西欧化、環境汚染、寄生虫感染の減少、ストレス等々によるとされています。

スギ花粉は2月から4月に飛散するため、春の訪れと共に、くしゃみ、鼻水、鼻つまり、涙や目の痒みなど、スギ花粉症に悩まされる方は大勢います。今次大戦前、スギ花粉症は稀でしたが、昭和40年代には増加の一途をたどり、わが国の罹患者は二千万人以上と言われています。このようにスギ花粉症が多発したのは、戦後、国が推進した大规模スギ植林により杉の人工林が急増し、その大半が花粉を飛散する樹齢30~40年になったこと、地表が舗装されて花粉が遠くまで飛びようになつたこと、アレルギー性疾患と関連があるとされる食事の西欧化、環境汚染、寄生虫感染の減少、ストレス等々によるとされています。

スギ花粉症に関する研究の多くは発症に至るメカニズムについて、スギ花粉症を発症しない人の内因は未だ詳らかにされていません。しかし、スギ花粉症は自己防衛機能の根幹をなす免疫系がスギ花粉を抗原として認識して抗体を形成する免疫応答が間違った抗原抗体反応を起こした結果であることは確かです。筆者は間違った反応の一因に太陽光線を遠ざけ自然と隔絶した文明生活が関わっています。

スギ花粉症に関する研究の多くは発症に至るメカニズムについて、スギ花粉症を発症しない人の内因は未だ詳らかにされていません。しかし、スギ花粉症は自己防衛機能の根幹をなす免疫系がスギ花粉を抗原として認識して抗体を形成する免疫応答が間違った抗原抗体反応を起こした結果であることは確かです。筆者は間違った反応の一因に太陽光線を遠ざけ自然と隔絶した文明生活が関わっています。

スギ花粉症

自己防衛機能としての免疫応答

スギ花粉症は 自然と隔絶した文明病 —光線療法でスギ花粉症を予防—

サナモア光線協会
医学博士 宇都宮 光明

花粉症の光線療法
—光線療法でスギ花粉症を予防—
予防対策として光線療法を勧めます。

光線が免疫応答を調節する作用は、免疫系を司る細胞分化誘導作用とカルシウム代謝調節作用の二大作用を持つビタミンDを生成するからです。細胞の分化を誘導する作用が免疫系に及ぼす作用は、免疫機能に関係する血液幹細胞がビタミンD受容体を受け皿にして、単球や



発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18
サナモア光線協会
年4回発行
会費年500円
電話 東京(03)
3793-5281
3712-5322

低下させた側面があると考えられますので、この観点から、各人が生活習慣を見直し、光線に親しむ生活を取り戻して欲しいと考えています。

ところで、夏、日光浴をするとき、冬、風邪を引かない、と言ふことはあります。この表は経験的事実に基づく知恵ですが、光線には免疫応答を調節する作用がありますので、花粉症の予防対策として正しく動作させる作用があります。そこで、花粉症を予防しますが、花粉が飛散する時期だけでなく、日頃から継続して行なうことが予防する上で大切です。

花粉症の光線療法
—光線療法でスギ花粉症を予防—
予防対策として光線療法を勧めます。

賀春

平成二十六年 元旦

(株) 東京光線療法研究所
サナモア光線治療院
(六日より営業します)

一病息災

一病 息災

骨代謝と骨粗鬆症

サンモア光線治療院

院長 医学博士 宝都宮 正範

骨には、皮質骨と海綿骨といふ二種類がありますが、それらは、異なった役割を担っています。皮質骨は、緻密で硬く、極めて強いのですが、海綿骨は、梁のようないわゆる骨梁が網目状に走っており、スponジ状を呈し、皮質骨よりやわらかいことが特徴です。その皮質骨と海綿骨の含まれる割合は、身体の部位や一つの骨の部位によつても異なります。例えば、大腿骨では、骨端の部分には、海綿骨が多く含まれますが、これは関節に近いため、硬い骨では軟骨を傷めるからです。また、骨幹の部分には、皮質骨が多く含まれますが、これは身体の重さに耐えるだけの強度が必要なためです。また、椎体は硬すぎると、椎間板を傷めるため

骨の構造

私たちの身体を支え、カルシウムの貯蔵庫でもある骨は、成長期に太く伸び、成長が停止した後は、そのままの状態が維持されているだけと思われがちですが、そうではありません。骨は絶えず新陳代謝を行っています。古い骨を溶かし、新しい骨につくり替える作業を日々と行っており、骨代謝と呼ばれます。

はじめに

骨は一生を通して、休むことなく、古い骨を壊し、新しい骨をつくりており、一年で約10%の骨が入れ替わるときます。この骨代謝を担うのは、破骨細胞と骨芽細胞です。破骨細胞は骨の表面に張り付き、酵素や酸で、骨を溶かし骨吸収（骨芽細胞は、コラーゲンを分泌し、ハイドロキシアパタイトを沈着させて骨を形成します（骨形成）。

骨代謝

呼ばれるリン酸カルシウムの結晶が沈着して形成されています。骨を建物の構造に例えると、「ラーゲン」は鉄骨で、「ハイドロキシアパタイト」と「コラーゲン」はコンクリートとなります。強靭なコラーゲンは、骨を支えるとともに、外力が加わった際には、たわむことによって外力を吸収します。これに対し、ハイドロキシアパタイトは、コンクリートのように硬くて丈夫ですが、外力の加わり方によつては、折れるといつたもろさを併せもちます。

骨の成分

濃度が上昇する仕組みが、体には構築されているのです。また、紫外線を浴びて皮膚で合成されるビタミンDは、腸管からのカルシウム吸収を促進するともに尿へのカルシウム排泄を抑制することによって、カルシウム濃度の維持を助けています。

骨粗鬆症

カルシウムは99%が骨内にあり、残りの1%は、血液や体液中になりますが、骨や歯の材料としてだけでなく、神経伝達や筋収縮等の重要な働きも有ります。そのため、血液中のカルシウム濃度は、常に一定に保つ必要があります。ですから、もし食事が少なければ、十分なカルシウムを摂取できません。しかし、血液中のカルシウム濃度が低下すると、不足分を骨から補おうとしますが、この時、副甲状腺ホルモンが破骨細胞の働きを活性化し、骨からカルシウムが溶け出し、血液中のカルシウム濃度が上昇する仕組みが、体内には構築されているのです。

また本邦において骨粗鬆症の診断は、①脊椎圧迫骨折や大腿骨近部位骨折が起きている場合と②骨密度が若年成人の平均骨密度の70%を下回る場合とされますが、その主な症状は、背中や腰の痛み、背中や腰の弯曲、身長の低下等です。

骨粗鬆症が、高齢者の身体活動の低下につながる原因の一つであることは確かなことです。サンモア光線療法には、ビタミンDを介して骨を丈夫にし、骨粗鬆症を予防する作用がありますので、骨折等を起こす前から使用することをお勧め致します。

このサイクルは、「骨代謝回転」または「骨のリモデリング」と呼ばれ、複数のホルモンやビタミンD、サイトカイン等によって、調節されています。

カルシウムとビタミンD

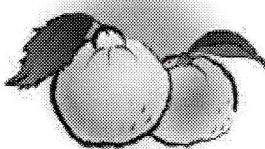
カルシウムは、99%が骨内にあり、残りの1%は、血液や体液中にありますが、骨や歯の材料としてだけでなく、神経伝達や筋収縮等の重要な働きもあります。そのため、血液中のカルシウム濃度は、常に一定に保つ必要があります。ですから、もし食事から十分なカルシウムを摂取できず、骨折しやすくなる状態のことですが、骨の強度は、骨密度(骨量÷面積)と骨質の二つの因子で決定されます。このなかで、骨量は、骨に含まれる石灰分等の量を表し、数値が高い程が丈夫ということになりますが、成長とともに増え続ける骨量も、20歳頃にピークを迎え、40歳を過ぎると徐々に減少します。なお、骨質は、取り出さないと評価できないため、骨粗鬆症の検査としては、骨密度のみが利用されていますが、これは、骨内のカルシウム含有量を示す数値で、病院で測定されているものです。

謹
賀
新
年

まいとわざ、行動しなければならないと考えております。
本年もどうぞよろしくお願い申上げます。

明けましておめでとうございます。今年は午年です。サナモア光線治療院も、馬にあやかり大ジャンプと飛躍の年にしたいところですが、多くの方の健康に寄与するためには、汗馬の労

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.56 宇都宮 正範

第十九期

サナモア光線治療師養成講座のお知らせ

本年度も、昨年と同様、サナ

モア光線治療師養成講座を六月末に開講する予定であります。

光線治療院の開業をご検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、サナモア光線治療院〇三一五七五九一三七一〇)までご連絡下さい。

なお、日程等の詳細につきましては、次号に掲載させて頂きます。

第四十回 「光と熱研究会」 のお知らせ

医療に関連した話題の講演や

治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日 時：四月十九日(土)
午後二時三〇分
場 所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療院＆治療師紹介

今回は先に行われたサナモア

光線治療師養成講座に出席し、治療師資格を取得され、光線治療院を開業された方を紹介させて頂きます。

万亀羅・癒しや本舗

院長：深澤恵子 治療師

電話：080-4123-3637
住所：千葉県柏市柏3-7-17

トーカンキャステール313
交通：JR柏駅より徒歩五分
営業時間：完全予約制。受診者

との相談にて決定致します。

施術内容：サナモア光線療法30分施行後、筋肉のバランス調整およびリンパ・トリートメント等を施行。基本料金3千円。
一言：以前から、パワー・ストークに興味を持っており、様々なヒーリングやタッチフォーヘルスで筋肉調整や経路を学び、リンパ・トリートメントを勉強してきました。しかし、最も確かな効果を感じた治療は、子供の頃から身近にあり、事あるごとに使っていたサナモア光線治療で

これからは、自分自身の体験に基づき、自信を持つてお悩みの方の治療に当たりたいと思います。

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線治療院
〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

第25回 日本療術学会から

東京 ホテルクラシックバレス 平成25年11月17日～18日

シンポジウム

「自然治癒力の向上と光線療法」

「自然治癒力の向上と光線療法」

(財)全国療術研究財団

光線部門 宇都宮 光明



(財)全国療術研究財団
光線部門
宇都宮光明

光線療法の起源と理念

光線療法の理念は、診断に基づいて病因に直接作用する特異的治療法を用いる現代医学の手法と異なり、光線という限られた手法を用いて自然治癒力の向上を図る非特異的治療法に属する施療法である。換言すれば、光線療法は全体的、全人的な施療法で病気でなく病人を診るので、あつて、病人が良くなるのは自然治癒力が向上した結果である。

光線で生成される

ビタミンDの作用

高血圧、動脈硬化、糖尿病などさまざまな生活習慣病の危険因子になる。

毎日、朝日を浴びると、一日を24時間の地球時間に合わせる体内時計が作動し、覚醒と睡眠の昼夜の生体リズムを調節する。

この生体リズムを日内リズム・リズムと呼ぶが、可視光線の光工

陽光線の恵みを直感的、体験的に会得し、太陽光線を用いた日光療法に自然治癒力を向上させ病変を治療に導く効能があると信じたことにある。因に現代医学の祖とされるヒボクラテスは日光療法を積極的に医療に取り入れている。

光線療法の起源は、先人が太陽のパラソルモンが骨からカルシウムを血中に溶出させて補うたカルシウムは血中から細胞内に移行して細胞内カルシウム濃度が上昇する。この状態をカルシウムパラドックスと呼ぶが、

シウムパラドックスと呼ぶが、粗鬆症になる。この際、溶出したカルシウムは血中から細胞内に移行して細胞内カルシウム濃度が上昇する。この状態をカル

シウムパラドックスと呼ぶが、

赤外線の透過性のある温熱作用による、鎮痛効果、筋緊張緩和、末梢循環の改善、心拍出量の増大、発汗促進、新陳代謝の促進は従前から知られているが、近年、

（五ページにつづく）

成されることが明らかになつたことである。すなわち自然治癒力と深く関わっているビタミンDは紫外線を浴びれば過不足なく生成されるが、魚肉を除く食品には殆ど含まれないため、紫外線を浴びないと容易にビタミンD欠乏症を起こし、カルシウムの吸収量が減り排泄量が増えずカルシウムの血中濃度が低下する。そのため副甲状腺ホルモンのパラソルモンが骨からカルシウムを血中に溶出させて補うたので、子供はクル病、成人は骨粗鬆症になる。この際、溶出したカルシウムは血中から細胞内に移行して細胞内カルシウム濃度が上昇する。この状態をカルシウムパラドックスと呼ぶが、

シウムパラドックスと呼ぶが、粗鬆症になる。この際、溶出したカルシウムは血中から細胞内に移行して細胞内カルシウム濃度が上昇する。この状態をカルシウムパラドックスと呼ぶが、

シウムパラドックスと呼ぶが、

シウムパラドックスと呼ぶが、

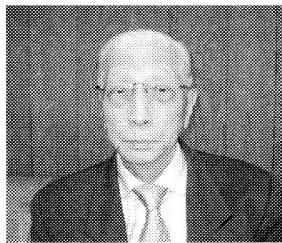
シウムパラドックスと呼ぶが、

シウムパラドックスと呼ぶが、

(四ページからつづく)

温熱刺激で誘導され産出量が著しく増加するため熱ショック蛋白質と呼ばれる、ストレスに対する耐性を誘導して生体防御効果に勝れた一群の蛋白質が生成されることが明らかにされた。

熱ショック蛋白質には、生体を細胞傷害から防御する作用、NK細胞活性を始め自然免疫能を高める作用、蛋白質の品質を管理する作用がある。蛋白質は生命機能を支配する構成成分で、構造上の間違いや変性は病因になり、病氣に伴って異常な蛋白質が発現して病氣を悪化させるが、熱ショック蛋白質はこれらの蛋白質の異常を正常に戻す機転を促進する。なお蛋白質の品質を管理する機能をシャペロン機能と言うため、熱ショック蛋白質を分子シャペロンと言つが、蛋白質の品質管理は自然治癒力の本質に関わる作用である。

光線のその他の作用
これまでの研究から、光線に

社団法人 神奈川県療術師会
海渡一二三

「胆道ジスキネジー」
の施療経験

は他にも、コレステロール値の低下、尿酸の排泄、代謝の亢進、肥満の解消、炭塵肺の予防などに有用な作用がある。なお併せて光線には未だ科学的に解明されていない効能がある蓋然性を指摘して結びとする。

一般演題

経験を報告する。
〔症例〕患者 53歳 主婦 スナック経営
〔主訴〕特にスナックで接客中に飲食した後の右上腹部を中心とした腹痛発作

〔既往歴〕37歳で子宮頸癌に罹患、病院の治療に併用して当院で光線療法を行った。
〔現病歴〕初診時、顔面蒼白で、右上腹部に鈍痛があり、辛そうだったが、胆道ジスキネジーは命に関わる病気ではないから安心して施療を続けようと言った。
〔療法ならびに経過〕施療は四台の光線治療器を使い、同時照射した。カーボンは標準光線のサナモアAカーボンと強赤外線のサナモアBカーボンの組み合せか、Bカーボンと強可視線のDカーボンの組み合わせを用いて、側臥位で右上腹部60分、後頭部10分、足裏30分、膝10分照射してから、顔面10分、腰部と臀部各15分照射し、次いで仰臥位で、左から肩、右から上腹に望みを託して来院された。施

療の結果、著効を得たので施療を逆にして、右から肩、左から上腹部、右から膝に各15分の照射を継続して毎日行った。

右上腹部に鈍痛は軽減し、痛みの発作の間隔は遠のき、三ヶ月後には腹痛は殆どなく、スナックの仕事も支障なくこなせるようになつたので、演者の治療院での施療を中断し、自宅で光線療法を継続するように指示した。その後、患者からの連絡はなく月日が経過したため、患者宅に電話をして病状を聞いたところ、患者本人が電話に出て、先生、胆道ジスキネジーは治りましたから安心して下さい、と言われた。

〔考案ならびに結語〕胆道ジスキネジーは胆道系に器質的疾患などの異常を認めないので、胆道系の機能異常により、食事直後または1~2時間後に右上腹部痛や右背部痛を認める病態である。痛みが鈍痛か疼くような痛みが多く、黄疸は起きないか起きても軽い。

胆道ジスキネジーは胆汁の排出に関係する自律神経や消化管ホルモンの異常が関係すると考えられている。すなわち胆道系機能は自律神経の働きによって調節されているが、自律神経のバランスが崩れて調節機構に狂いを生じると、食後に胆道系が異常運動を起こし、胆汁が胆嚢や胆管にうっ滞し、胆道内圧が上昇して、胆石症のような痛みを生じるのが胆道ジスキネジーの本態と考えられている。

ところで胆道ジスキネジーの施療に光線療法を行つて著効を得たが、光線の深部温熱作用により胆道系の異常運動が抑えられて腹痛が和らいだからである。言うまでもなく、この施療の鎮痛効果は一過性で限られているので、施療を繰り返し、繰り返し鎮痛を体感させることで、自律神経のバランスは調節されて安定し、胆道の異常運動は解消して、胆道ジスキネジーに由来する痛みの過敏状態から脱却した結果である。

治
驗
例
報
告

気管支喘息による呼吸器症状が

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告
TEL 078-331-1358

サナモアで改善

症例 52歳 男性 会社員
症状 以前から、風邪をこじらせやすく、咳が長引くことも度々であったが、夜間に激しい咳で覚醒するようになり、呼吸苦も伴つたため、呼吸器科を受診。そこで、気管支喘息と診断され、投薬治療を受けて、激しい咳で覚醒することはなくなり、喘息発作は起らなくなる。しかし、翌年の冬に再び、風邪をきっかけとして、喘息様の症状が始めたため、今回は、数年前に妻が購入したサナモア光線治療器を使い光線治療を始めた。

療法経過 治療は、最初ABカーボンで、足裏30分、腓腹部30分、足の甲30分、膝30分照射。その後、腹部30分、腰部30分、背部30分、前頸部20分の照射を朝晩二回施行した。光線療法を開始してから、呼吸が自然と深くなっ

たようを感じ、熟睡できるようになる。一週間が経過した頃には、咳の回数は減り、夜間に激しく咳こんで覚醒することはほ

とんどなくなった。この頃、薬剤師の友人から、薬には効果以外に副作用があるから、注意する必要があると聞いたが、サナモアには副作用の心配がないことが大きな長所で、気管支喘息に効果があることが分かってよかつたと話している。現在、一日一回の照射を欠かさず行っているが、気管支喘息は落ち着いており、快適な日常を過ごしている。

治
驗
例
報
告

サナモアで高齢者の

大腿骨骨折術後を治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告
TEL 091-581-2039

症例 90歳 女性
症状・療法経過 長年のサナモア愛用者。お風呂場で滑って転倒し、救急受診したところ、大腿骨骨折と診断。20cm程の金属製のプレートをボルトで固定するといった大手術を受けた後、リハビリを施行し、約二十日の

入院期間で退院となる。しかし、以前のように歩くことができず、創部に痛みもあったことから、サナモア光線療法について相談。ご本人は、金属のプレートが入っていると、サナモアを使えないのではないかと心配されていた。

サナモアを照射できることを伝え、とにかく、BCカーボンで創部を中心として長時間照射するよう指導した。

しばらくして、痛みも少しづつ軽くなり、杖をついて歩けるようになつたが、創部はすぐに痛くなるので、その都度、サナモアを照射しているとの報告を受けた。その後も毎日のように受けた。その後も毎日のようにサナモアを続けていたが、徐々に、台所に立つたり、畠仕事をしたり、自転車で買い物にも行

けるようになったとのこと。痛みを自覚すると、すぐにサナモアを照射しながら約二年が経過した現在においては、以前にも増して元気に過ごされており、最近、ようやく完治したようで、サナモアがなかつたら、きっと寝たきりになつていただけではないかと思うと感慨深げに話された。そして、この歳になつても、サナモアは効くものですねと大変喜ばれていた。

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」とともにご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せかけて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持てませんので、皆さまご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

治
驗
例
報
告

網膜剥離、糖尿病を サナモアで治療

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 63歳 主婦

症状 サナモア愛用者。糖尿病にて通院治療中に視力低下を認め、眼科を受診したところ、網膜剥離を指摘。病院で治療を開始したが、サナモアでも治療したいと来院された。受診時、他に椎間板ヘルニアによる腰痛と下肢のしびれ、巻き爪等も認められたため、合わせて治療を行った。

治
驗
例
報
告

サナモアで

妊娠に伴う体調不良が改善

目黒区 サナモア光線治療院

東原 なつ子氏報告

TEL 03-1559-1370

療法経過 治療は、四台の治療器で、BDカーボンを使用。最初、側臥位にて、顔面、腰部、

頭部、腹部、足裏を15分照射。臀部、膝を60分照射。次に、後

症例 38歳 女性

症状 サナモア愛用者。以前か

ら、疲れやすく、全身倦怠、体

調不良を訴えて、不定期でサナ

モア光線治療院に通っており、

自宅での治療と並行して光線療

から約一年半行った。その後の病院の検査で、血糖コントロールが改善していると説明を受け、眼科医は、視力が予想以上に改善している点を不思議がり、網膜剥離の場合、なかなか視力の回復は難しいのにと話された。

患者は良く見えるようになったと喜んでいるが、今後も自宅での光線治療を継続するとの必要性を説明した。

側面を15分照射した。当院での治療は、自宅治療と合わせ、根気よく続けたが、平成12年6月

はつらつさんと ジョイントカーボン

全自動光線治療器

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきました。この点を改良したのが全

法を行っていた。今回、第二子で妊娠五か月に入った頃から、身体が重く、体調が思わしくないとの理由で来院された。

法を行っていた。今回、第二子で妊娠五か月に入った頃から、身体が重く、体調が思わしくないとの理由で来院された。

を、週一回のペースで行つとともに、自宅での光線治療を継続。全身照射を受けると、身体が軽くなるように感じると話していましたが、無事に第二子を出産した。

療法経過 治療には、五台の治療器を使用。側臥位にて、腹部(BD)、膝(AB)、後頸部(BD)、腰部(BD)、足裏(AB)を40分全身照射。治療院での全身照射

いる。

しかないと考えていました頃、知人

は軽く考えていましたが、症状

は好転せず、接骨院にも通いま

したが、無理して動いているう

ちに、だんだんと痛みが強くな

り、歩くこともできず、一日横

になつている日もあるような状

態でした。もう残る手段は手術

しかないと考えていました頃、知人

は軽く考えていましたが、症状

は好転せず、接骨院にも通いま

したが、無理して動いているう

ちに、だんだんと痛みが強くな

り、歩くこともできず、一日横

になつている日もあるような状

態でした。もう残る手段は手術

サナモアに出会えた

ことに感謝です

横浜 坂巻 まゆみ様

治療は、週に二回、足裏から、膝、腰、背中、お腹等を約一時間照射しました。治療を開始してから数回、膝やすねのあたりに、ぴりぴりとした痛みを感じましたが、それも治療の過程で起こりうることだと説明され安心しました。五、六回治療を受けた頃から、少しずつ、その効果を感じるようになり、二か月

サナモア 光線療法 愛用者の声

からサナモア光線療法を試してみないかと言われたのです。それまで、サナモア光線療法など聞いたこともなかつた私にとっては、光線療法で治るのか疑問に感じましたが、同様の症状でサナモアを試して治った知人の説得力のある話から、治療を受ける決心がつきました。

一時は手術まで考えていた自分自身も、あの時の痛みが嘘のようです。もっともつと、サナモア光線療法が広まればいいですね。

今は、サナモア光線療法に出会えて本当に良かつたと思っていますし、紹介してくれた知人にもまだ感謝です！

—サナモア体験記募集—

サナモア光線協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申しあげます。

メールアドレス：

sanamore@hr.catv.ne.jp

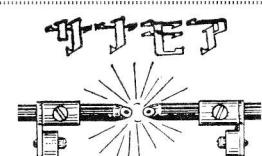
(本紙の無断転用を禁止します。)

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。
〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会(03)三七九三一五二八一

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、
一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

医学博士 宇都宮 光明



サナモア
光線協会
趣意書